

授業科目名	研究 方法 A - II (量的研究方法) <i>Research Methods A- II</i>					担当教員	姫野 稔子				
開講年次	1年後期	セメスター	2			時間数(単位数)	15(1)				
必修選択	選択	授業形態	講義			使用教室					
授業の目的	調査研究における質問票の作成、調査の実施、回収した質問票の扱い方、分析の手法を実践を通して習得する。										
到達目標	1. 研究の枠組みの作成方法を理解することができる。 2. 研究の枠組みと質問票の関係を理解することができる。 3. 測定用具の開発方法を理解することができる。 4. データ収集・データクリーニング・データコーディングの方法を理解することができる。 5. SPSS を用いた分析方法を理解し、実施することができる。										
DP との 関連	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6 (保健)	DP6 (CNS)	DP7 (CNS)	DP6 (助産)	DP7 (助産)	DP8 (助産)
	○		◎	○							
授業計画	1回 調査研究の進め方 2回 質問紙の作成方法・データ収集方法 3回 研究の枠組みの作成方法(1) 理論的枠組み 4回 研究の枠組みの作成方法(2) 概念枠組み、測定用具の開発 5回 データ入力とデータクリーニングの方法 6回 演習: コーディング表の作成とデータコーディング 7回 演習: Excell への入力、ダブルエントリー、データクリーニング 8回 演習: Excell データを SPSS に読み込む。データの加工と分析方法										
学習方法	事前学修としては、研究方法の量的研究の内容及び研究方法 A- I の内容の既習箇所を復習しておくこと。提示した資料及び理解を促進するための文献を熟読しておく。事後学修としては、毎回の資料を復習し、理解が十分でない箇所を次回に質問する。単元の後半は、配布されたフォーマットに架空の調査データを入力して授業資料とし、それをもとに演習を展開する。その際は SPSS を搭載した PC を使用する。										
オフィス アワー	以下の時間帯およびメールでのアポイントメントにて設定します。 姫野: 金曜日の昼休み, t-himeno@jrckicn.ac.jp										
テキスト	特に指定しない。授業内にて適宜指示する。										
参考文献	古谷野亘・長田久雄: 実証研究の手引き—調査と実験の進め方・まとめ方—, 東京, ワールドプランニング, 1992. 竹原健二・渡辺多恵子: 看護・医療系の調査研究エッセンス, 東京, 医学書院, 2010.										
評価方法	レポート及び課題 (60%)、授業参加度 (40%)										